

火山研究体制、火山専門家の 知見の活用、育成 について

内閣府(防災担当)

火山の研究者数と研究予算

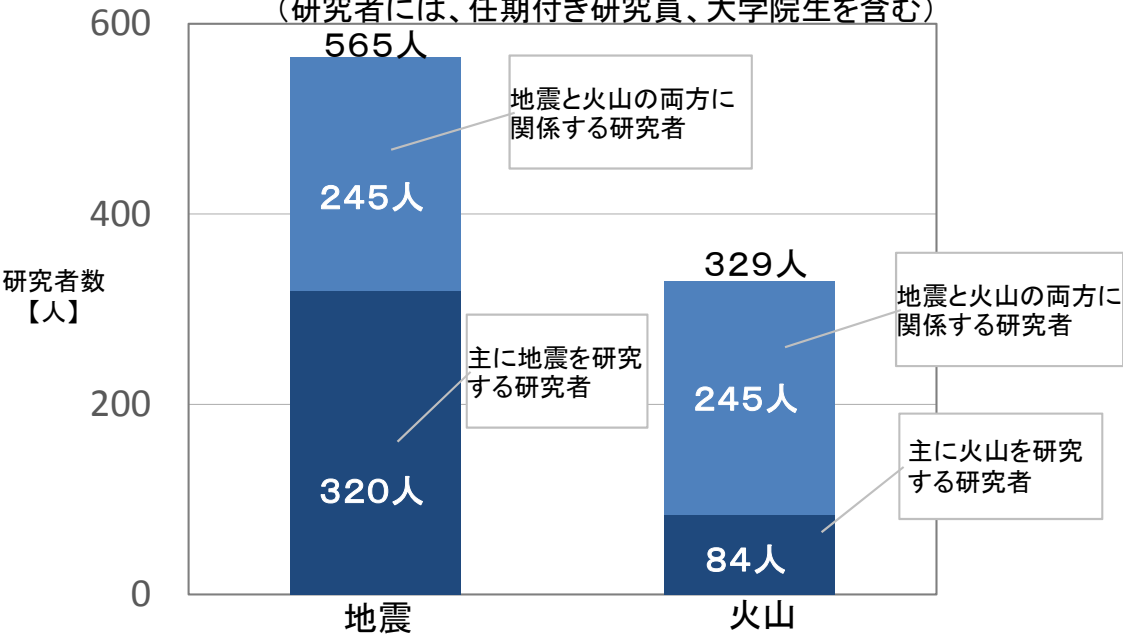
(文部科学省とりまとめをもとに作成)

研究者数、研究費は暫定値

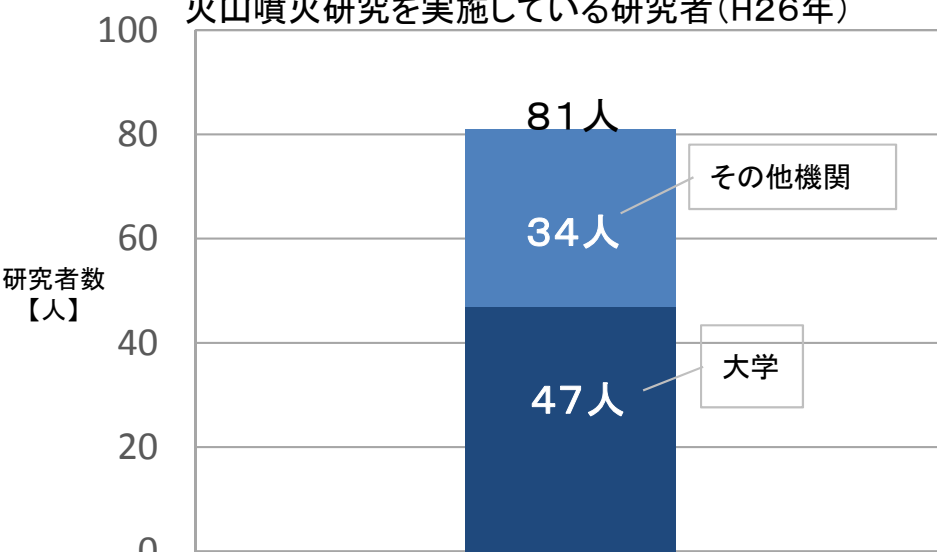
火山関係の研究者数

●火山と地震の研究者数比較(H26年)

(研究者には、任期付き研究員、大学院生を含む)



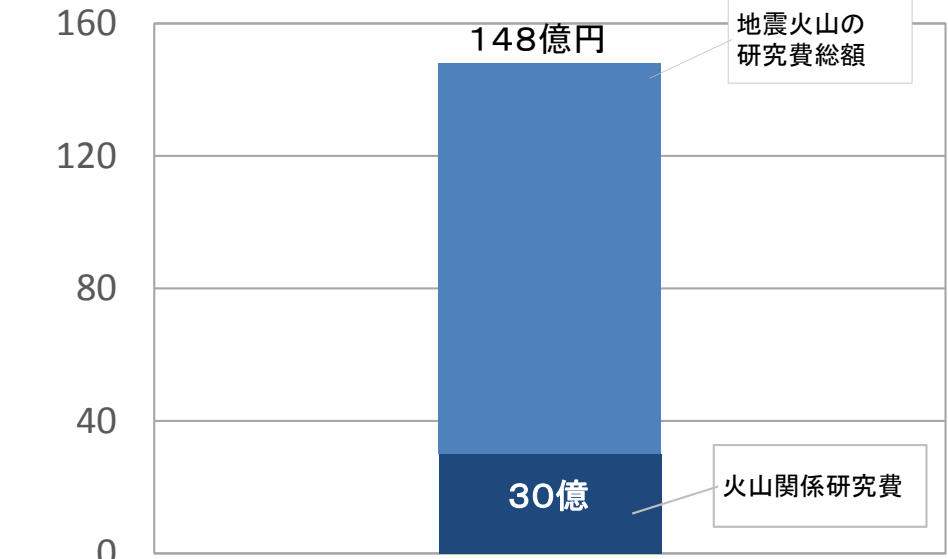
●329人のうち、火山観測点の維持・管理にも携わりながら火山噴火研究を実施している研究者(H26年)



- ①大学の研究者は、教授・准教授・講師・助教・任期付き研究員。
- ②大学・その他機関ともに地震と火山の両方に関係する研究者を含む。

火山関係研究費

●火山と地震の研究費比較(H26年度)



※地震と火山の研究計画が統合され、地震と火山の切り分けが困難なところもあるため、地震と火山の両方に関係する経費を含んだ30億円が火山関係研究費として計上されている。

火山の観測研究等を実施している大学・研究機関

(測地学分科会地震火山部会 平成26年11月とりまとめをもとに作成。下記※は内閣府調べ)

大学		観測研究対象火山(常時観測47火山のみ掲載)
北海道大学	大学院理学研究院	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳
東北大学	大学院理学研究科	秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島
秋田大学	大学院工学資源学研究科	桜島
東京大学	大学院理学系研究科	十勝岳、浅間山、伊豆大島、桜島、諏訪之瀬島
〃	地震研究所	浅間山、富士山、伊豆大島、霧島山
東京工業大学	火山流体研究センター	十勝岳、吾妻山、草津白根山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、硫黄島、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
名古屋大学	大学院環境学研究科	御嶽山
京都大学	大学院理学研究科	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山
〃	防災研究所	焼岳、霧島山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
九州大学	大学院理学研究院	富士山、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山、桜島
鹿児島大学	大学院理工学研究科	霧島、桜島、口永良部
東海大学	海洋研究所	新島、神津島、青ヶ島
研究機関		観測研究対象火山(常時観測47火山のみ掲載)
産業技術総合研究所		雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、秋田焼山、岩手山、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
防災科学技術研究所		十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、那須岳、草津白根山、浅間山、富士山、箱根山、伊豆大島、三宅島、硫黄島、阿蘇山、雲仙岳、霧島山、口永良部島
気象庁(気象研究所)		浅間山、伊豆大島、霧島山、桜島

※ 上記以外の火山観測を実施している国の機関及び独立行政法人：海上保安庁、国土地理院、情報通信研究機構。

※ 火山に関する研究等を実施している地方公共団体の研究所：北海道立総合研究機構、神奈川県温泉地学研究所、山梨県富士山科学研究所。2

火山防災協議会に参画している火山専門家一覧

火山名	火山防災協議会設置	火山防災協議会への火山専門家の参画		
		人数	内訳	
アトサヌプリ				
雌阿寒岳	○			
大雪山				
十勝岳	○			
樽前山	○			
倶多楽				
有珠山	○			
北海道駒ヶ岳	○			
恵山				
岩木山	○	○	5	東北大1、弘前大3、岩手大1
秋田焼山	○	○	4	東北大1、秋田大3
岩手山	○	○	5	岩手大2(元職含む)、東北大2(元職含む)、元・東工大1
秋田駒ヶ岳	○	○	4	東北大1、秋田大3
鳥海山				
栗駒山				
蔵王山				
吾妻山	○	○	5	東北大1、福島大1、宇都宮大1、茨城大1、磐梯山噴火記念館1
安達太良山	○	○	5	東北大1、福島大1、宇都宮大1、茨城大1、磐梯山噴火記念館1
磐梯山	○	○	5	東北大1、福島大1、宇都宮大1、茨城大1、磐梯山噴火記念館1
那須岳	○	○	2	宇都宮大1、日本大1
日光白根山	○	○	1	宇都宮大1
草津白根山	○	○	2※	東工大※、上智大※
浅間山	○	○	2	東大2(元職含む)
新潟焼山	○	○	4	元・京大1、新潟大2、妙高火山研究所1

火山名	火山防災協議会設置	火山防災協議会への火山専門家の参画		
		人数	内訳	
焼岳	○	○	2	京大1、信州大1
乗鞍岳				
御嶽山	○			
白山	○	○	2	名古屋大1、金沢大1
富士山	○	○	6	元・東大2、日本大1、政策研究大学院大1、静岡大1、温泉地学研究所1
箱根山	○	○	1	温泉地学研究所1
伊豆東部火山群	○	○	3	静岡大2、東大1
伊豆大島	○			
新島				
神津島				
三宅島	○			
八丈島				
青ヶ島				
硫黄島	—	—		
鶴見岳・伽藍岳	○	○	4	京大2、鹿児島大2(元職含む)
九重山	○			
阿蘇山	○			
雲仙岳	○			
霧島山	○	○	4	元・京大1、鹿児島大2、宮崎大2
桜島	○	○	1※	京大※
薩摩硫黄島	○	○	1※	京大※
口永良部島	○	○	1※	京大※
諏訪之瀬島	○	○	1※	京大※
合計	34	23		

※印: 機関としての参画。

火山防災協議会の設置火山は、平成26年11月14日現在34火山(岩木山火山防災協議会設置により1増)。

内閣府火山防災エキスパート制度(平成21年度から)

- 火山防災体制の構築や噴火時等の防災対応には、火山の特徴や過去の災害状況等を熟知した職員が必要だが、実際に火山噴火等を経験した地方公共団体は少ない。
- 地方公共団体等で火山防災対応の主導的な役割を担った経験のある実務者を、内閣府火山防災エキスパートとして火山地域へ派遣し、火山防災対策の立案等の支援を行う。

【支援内容】

- ・協議会等の設置、運営等の支援
- ・各火山の地域防災計画、火山防災マップ等の作成支援
- ・地方公共団体の長及び職員への研修
- ・防災訓練実施の支援 等

【内閣府火山防災エキスパート(平成26年11月現在)】

- 池谷 浩 (政策研究大学院大学特任教授)
- 岩田 孝仁 (静岡県危機管理監兼危機管理部長)
- 杉本 伸一 (三陸ジオパーク推進協議会上席ジオパーク推進員)
- 田鍋 敏也 (壮瞥町教育委員会教育長)
- 土井 宣夫 (岩手大学教育学部社会教育科教授)

【派遣実績(平成21年10月～平成26年11月)】

- 14火山で32回の派遣を実施

【火山防災エキスパート制度の拡充に向けた取組】

- 火山防災エキスパートの量的拡充等に向けて、過去の火山対応の実務に携わり、経験や教訓を伝承いただける方について火山地域の地方公共団体等から紹介を受け、「火山災害対応経験者」として火山地域での講演等に派遣できるようにしている。



講演(白山)



図上訓練(伊豆東部火山群)

派遣時の様子